

議会だより



[表紙写真]

5月12日(日)玉川公園において水仙まつりロードレース大会が行われました。

小中学生、一般の参加者合わせ290名がロードレースに出場し、日頃の練習の成果を発揮していました。

議会構成	P 2 ~ 3
第1回定例会	P 4 ~ 8
一般質問	P 9 ~ 11
委員会レポート・臨時会	P 12 ~ 13
政務活動費執行状況	P 13
議会の動き・編集後記	P 14

町民代表 12 人による議会構成が決まりました

- ①住所
- ②職業
- ③所属政党



副 議 長
すが わら よし ゆき
菅 原 義 幸 (74)
①瀬棚区本町
②会社役員
③無所属



議 長
ま がら かつ のり
真 柄 克 紀 (67)
①北檜山区北檜山
②会社役員
③無所属

町議会議員選挙後の初議会が5月10日に開催され、議長、副議長の選挙、常任委員会の所属など、それぞれの議会構成が決まりましたのでお知らせします。

議長挨拶

せたな町議会議長 真柄克紀

この度、不肖私、議員皆様方のご推挙により、議会議長の要職に就任させていただくことは身に余る光栄に存じます。また、その重責を強く感じております。大変浅学非才ではございますが町民各位、議員各位のご理解をいただき不偏不党、公正無私を旨として町議会が言論の府として円満に運営されるよう誠心誠意努力させていただきます。

今回の選挙で新しい四人の議員が誕生しました。このことは町民各位が議会として新しい活力と開かれた議論を求められた結果と考えております。新しい感性を十分に発揮し、仕事をする環境づくりも大変重要な仕事であると考えております。

また議会の使命は「自治体の具体的な政策の最終決定」と「行財政運営への健全な批判と監視」であると思っております。行政機関ともそれぞれの立場で本町の発展と住民福祉の向上に向けて努力を重ねてまいります。

町民の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。



はし もと かず お
橋本一夫 (69)
①北檜山区共和
②農業
③無所属



ほん だ ひろむ
本多浩 (67)
①北檜山区共和
②農業
③無所属



ます た みち ひろ
榎田道廣 (61)
①大成区都
②布教師
③無所属



よし だみのり
吉田実 (60)
①北檜山区東丹羽
②農業
③無所属



よこ やま かず やす
横山一康 (51)
①瀬棚区東大里
②農業
③無所属



おお ゆ みち さと
大湯圓郷 (71)
①北檜山区北檜山
②会社役員
③無所属



みち たか つとむ
道高勉 (67)
①北檜山区北檜山
②奉仕団体代表
③無所属



くま の ちから
熊野主税 (67)
①瀬棚区本町
②会社役員
③無所属



ひら さわ ひとし
平澤等 (67)
①北檜山区東丹羽
②農業
③無所属



いし はら ひろ ひろ
石原広務 (57)
①大成区都
②会社役員
③無所属

せたな町議会の構成

総務厚生常任委員会

委員長 熊野主税
副委員長 道高勉
委員 榎田道廣
" 横山一康
" 石原広務

議会運営委員会

委員長 大湯圓郷
副委員長 熊野主税
委員 榎田道廣
" 横山一康
" 平澤等

産業教育常任委員会

委員長 平澤等
副委員長 吉田実
委員 本多浩
" 大湯圓郷
" 菅原義幸

檜山広域行政組合議会

道高圓郷

議会広報発行常任委員会

委員長 榎田道廣
副委員長 横山一康
委員 本多浩
" 橋本浩夫
" 大湯圓郷
" 石原広務

北部檜山衛生センター組合議会

吉田実
熊野主税
平澤等



平成31年第1回定例会が3月4日から15日まで行われました。

新年度予算、補正予算、条例の改正等の議案の審議を行い、原案のとおり可決しました。

審議された議案のあらましについては以下のとおりです。

平成31年度予算

		平成31年度予算	平成30年度予算	前年比
一般会計		87億1367万6千円	90億2806万1千円	3億1438万5千円 減
特別会計	国民健康保険事業	13億2391万8千円	13億5902万1千円	3510万3千円 減
	後期高齢者医療	1億5107万円	1億4488万9千円	618万1千円 増
	介護保険事業	10億2761万4千円	10億2061万1千円	700万3千円 増
	介護サービス事業	6281万8千円	6145万4千円	136万4千円 増
	簡易水道事業	3億2035万6千円	3億7872万7千円	5837万1千円 減
	営農用水道等事業	1525万5千円	1615万3千円	89万8千円 減
	公共下水道事業	3億6551万3千円	5億3347万3千円	1億6796万円 減
	漁業集落排水事業	1462万1千円	660万3千円	801万8千円 増
	風力発電事業	5049万1千円	5479万5千円	430万4千円 減
	瀬棚港旅客施設事業	192万5千円	179万9千円	12万6千円 増
病院事業会計（収益的収入及び支出）		13億1907万7千円	12億5390万6千円	6517万1千円 増
病院事業会計（資本的収入及び支出）		3462万9千円	9498万1千円	6035万2千円 減
合計		134億96万3千円	139億5447万3千円	5億5351万円 減

平成31年度予算は賛成多数で可決されました。

討論

◎反対討論 石原広務 議員

議会が承認した指定管理者の指定、国民宿舎あわび山荘の指定期間、平成31年4月1日から平成32年3月31日までとされたのが、このままでは履行されない状況を町長が仕向ける行為には到底納得できないものではありません。

国民宿舎あわび山荘の指定管理について示された町長の考え、1つ、管理料を1、600万で受けられない場合は、今年3月末で廃止して3月末決算における赤字分については補てんしないとする考え。2つ目、改築という先が見えないので理由がつかないのに、資本金を集め運営するようにとした矛盾そのものの考え。そして平成31年度中に宿泊部門は廃止する方向で指定管理を受けたら、宿泊部門の廃止

に係る経費等については補正予算で対応するとしているが、公社の財務状況を悪化に追い込んだ認識もせず、ギリギリの人員で努力しているのも理解しないばかりか人員整理を強要し、漁業振興と言いつつ、公社に対し海産物を提供し、子育ての糧としている漁業担い手の日々努力をしているのも理解しないで日本一子育てしやすい町宣言をしているにも関わらず経費の削減と切り捨てる考え。公社がこの3条件から選ばざるを得ない状況は町長が掲げた選挙公約が、嘘、誤魔化し、裏切り、国民宿舎あわび山荘の改築がいかに進むかと解釈してしまう状況に陥り、大成区民に対しての欺瞞行為以外の何物でもないことは明らかになりました。

選挙公約が誤解を招き、町長の政治姿勢のそのものが現

第1回定例会



れた欺瞞的な予算には断じて反対し、反対討論とします。

◎賛成討論 大野一男 議員

私は平成31年度一般会計予算案に対し、賛成の立場で討論をいたします。

前年度の大規模事業の完了などにより、平成31年度一般会計予算は前年比3.5%減の87億1,367万6,000円となったものであります。

歳入では、普通交付税の合併算定替の段階的な縮減が4年目を迎え、大変厳しい財政状況にある中、国、道補助金の有効活用や過疎債、合併特例債など交付税措置のある優良な起債の活用、財政調整基金ほか各種目的基金からの積極的な繰り入れなど財源確保について評価するものであります。

また歳出では町民の安全、安心の確保に向けた防災行政無線デジタル化整備事業や学校教育のICT教育推進に伴うICT機器導入事業のほか、町の基幹産業である農漁業の振興策である農業、漁業チャ

レンジ等支援補助事業や商業振興策として、商業チャレンジ等支援補助事業の継続実施を盛り込むなど多岐にわたる、せたな町の持続的な振興、発展を推進する予算となっております。

最後に理事者、職員が一丸となって町民の負託にしっかりと応える町政執行を強く希望し、賛成討論といたします。



主な新規事業

・せたな・今金2町連携移住体験事業

渡島地域半島振興広域連携促進事業を活用し、檜山北部2町が連携を図り地域の特性をPRし、それを生かした移住体験事業を行うものです。

・デマンドバス運行事業費補助金

せたな町地域公共交通網形成計画に基づき、町内で実施するデマンドバス運行事業に対するものです。

・アオザメ漁業被害防止対策事業補助金

一本釣り漁業をはじめとする各漁業において、アオザメによる漁獲物の食害や漁具の破損などの被害が発生し、漁業者の経営に影響を与えているため、駆除に要する漁具の導入、処理費用等に対し、支援を行うものです。

・映画講演会講演業務
映画そのらのレストランの関係者による講演会を開催し、町民が町の魅力等を再認識することに今後PR活動や地域おこし活動に生かすものです。

・防災行政無線デジタル化整備工事
現在運用しているアナログ防災無線が令和4年11月で使用できなくなることからデジタル化に移行するものです。なお3力年で計画しております。

・中学生海外派遣事業補助金
中学生をシンガポールに派遣し、ホームステイや現地学生との交流等を通して国際的な感覚を持つ人材育成を図るものです。

平成 30 年度補正予算

会 計 名		今 回 補 正 額	補 正 後 の 予 算 額
一 般 会 計 (第 8 号)		△1億1737万4千円	96億604万5千円
特 別 会 計	国民健康保険事業(第4号)	2989万2千円	14億1366万円
	後期高齢者医療(第2号)	△26万8千円	1億5030万5千円
	介護保険事業(第4号)	△2489万2千円	10億2623万6千円
	介護サービス事業(第4号)	△309万2千円	5910万3千円
	簡易水道事業(第6号)	△284万4千円	3億8408万5千円
	営農用水道等事業(第3号)	29万6千円	1940万9千円
	公共下水道事業(第4号)	△8384万2千円	4億5631万8千円
	漁業集落排水事業(第1号)	△22万5千円	637万8千円
	病院事業会計【収益的収支】(第3号)	△812万8千円	13億564万3千円
	病院事業会計【資本的収支】(第3号)	△48万9千円	9622万円

補正の主な内容

- ◎一般会計補正予算(第8号)
 - 各種基金への積立金、国保病院の不採算経費分などに係る病院事業会計への繰出金、イカ釣り漁業燃油支援事業補助金、国の第2次補正予算によるプレミアム付商品券事業経費の追加などのほか、行政執行上、当面必要とする経費の精査等です。
- ◎国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
 - 事務費及び保険給付費などの精査のほか、基金積立金、北海道から特別交付金を財源とする病院事業会計への繰出金の追加等です。
- ◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
 - 事務費の精査のほか、北海道後期高齢者医療広域連合への保険料等負担金の減額等です。
- ◎介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
 - 保険給付費では各種介護サービス給付費の精査、地域支援事業費では介護予防サービス事業負担金等です。
- ◎介護サービス事業特別会計補正予算(第4号)
 - 介護予防プラン作成業務の追加のほか人件費の精査等です。
- ◎簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)
 - 基金積立金の追加、施設維持管理経費の精査等です。
- ◎営農用水道等事業特別会計補正予算(第3号)
 - 施設維持管理経費の精査のほか、施設修繕料の追加等です。
- ◎公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
 - 施設の維持管理経費及び下水道整備費の精査等です。
- ◎漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 - 施設の維持管理経費の精査等です。
- ◎病院事業会計補正予算(第3号)
 - ・収益的収入及び支出
給与費及び材料費や経費の精査等です。
 - ・資本的収入及び支出
国保病院の医療機器購入費及び大成診療所職員住宅ブロック塀改修工事の執行残精査等です。

決 算

平成29年度国民健康保険事業特別会計から病院事業会計までの11会計について認定しました。

条 例

◎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
働き方改革を推進するため
の関係法律の整備に関する法

律により、時間外労働の上限規制等が導入され、国家公務員に準じた改正を図るため本条例の一部を改正しました。

◎町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する

条例について

病院等に勤務する医師及び看護師等に支給する特殊勤務手当の支給見直しを図るため、本条例の一部を改正しました。

◎放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する

学校教育法の一部を改正する法律の施行により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が改正され、放課後児童支援員の資格要件が追加されたことから本条例の一部を改正しました。

◎総合福祉センター条例の一部を改正する

北檜山総合福祉センターを旧北檜山保育所へ移転するため、本条例の一部を改正しました。

◎簡易水道事業給水条例の一部を改正する

学校教育法の一部を改正する法律の施行により、本年4月から専門職大学が創設され、水道布設工事監督者等の資格要件に追加されたことから、本条例の一部を改正しました。

◎国民保護協議会条例の一部を改正する

国民保護協議会委員定数の見直しを図り、本町における国民保護措置を的確かつ迅速に推進するため、本条例の一部を改正しました。

◎若松自治会館条例を廃止する

若松自治会館の老朽化により施設を廃止するため、本条例を廃止しました。

諮問

◎人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴い次の方を推薦しました。

・北檜山区丹羽

・本田 孝行 さん (67歳)

・北檜山区北檜山

・東間 美次 さん (66歳)

・北檜山区若松

・本間 久代 さん (67歳)

その他

◎建物及び土地の無償貸付について

有限会社ビービーファクトリーに無償貸付している町有建物等について平成31年3月31日をもって契約満了となることから、引き続き無償貸付するため議決しました。

◎名誉町民の選定について

次の方を名誉町民に選定するため、議会の同意を得ました。

令和2年3月31日まで

・東京都世田谷区成城

・中村 隆俊 さん (91歳)

・東京都豊島区南大塚

・中村 秀夫 さん (89歳)

◎指定管理者の指定について

管理及び運営を、効果的かつ効率的に行わせるため、次の6施設について指定管理者を指定しました。

一、温泉ホテルきたひやま

指定管理者となる団体の名称及び所在地
株式会社北檜山観光振興公社
北檜山区徳島4番地16

指定の期間
平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

二、国民宿舎「あわび山荘」

指定管理者となる団体の名称及び所在地
一般財団法人貝取瀬温泉公社
大成区貝取瀬388番地

指定の期間
平成31年4月1日から

令和2年3月31日まで

三、瀬棚高齢者グループホームあさなぎ

指定管理者となる団体の名称及び所在地
有限会社ケアステーション
せたな

指定の期間
平成31年4月1日から
令和4年3月31日まで

四、せたな町米乾燥貯蔵施設

指定管理者となる団体の名称及び所在地
新函館農業協同組合
北斗市本町1丁目1番21号

指定の期間
平成31年4月1日から
令和6年3月31日まで

五、せたな町玄米ばら集出荷施設

指定管理者となる団体の名称及び所在地
北檜山町農業協同組合
北檜山区北檜山20番地

指定の期間
平成31年4月1日から

令和6年3月31日まで

六、せたな町営牧場

・指定管理者となる団体の名称及び所在地

新函館農業協同組合

北斗市本町1丁目1番21号

・指定の期間

平成31年4月1日から

令和2年3月31日まで

決議

◎平成29年度一般会計決算の再提出を求める決議

決算の認定は団体意思の確定として行われるものであることを考えれば、審議未了となった一般会計決算については、再提出して認定・不認定の審議を経ることが必要であることは明白である。

よって、平成29年度一般会計決算については今会期中に再提出を求め、決議しました。

提出議員 細川 伸男

賛成議員 本多 浩

〃 梶田 道廣

〃 真柄 克紀

〃 平澤 等
〃 大野 一男

◎せたな町長、高橋貞光君に対する問責決議について

高橋貞光町長は、不適切な専決処分とした平成28年度のクラスター関連予算に係る一連の問題から、平成29年度一般会計決算の再提出を求める決議に対しても真摯な対応を取ることなく、町政を混乱させたことは誠に遺憾である。

職員の不祥事も続き、町民の不安をおおるものであり、町民の期待を裏切るものである。これらのことから町長としての政治的・道義的責任を強く問い決議しました。

提出議員 平澤 等

賛成議員 細川 伸男

〃 本多 浩

〃 梶田 道廣

〃 真柄 克紀

〃 大野 一男

討論

◎反対討論 神田和浩 議員

平成29年度一般会計の決算については、平成30年9月定例会での町側の提案に対し、議会側は審議せず廃案にしたという事実があります。

その後、決算審査特別委員会において一般会計決算の再提出の要請については、私も賛成しました。しかし、結果、町側が再提出しないという結論を出した理由には十分正当性があることから、この問責決議に対し、提出しないことがその理由に当たるとは考えられないため反対討論とします。

◎反対討論 大湯圓郷 議員

平成29年度一般会計の決算は、理事者側が一度提出したものを議会側で審議未了としました。一度提出したものを審議せず再提出しなさいということに対しては納得できないため反対します。

◎賛成討論 真柄克紀 議員

平成29年度一般会計決算の再提出に対して最終的に履行が行われなかったことも一つの要因であるし、また今回の予算委員会の中で様々な対応について不手際な点多々見られた。

また、一連の不祥事等も含めた中できちんと襟を正し、行政運営をしていた、いただきたいことから、この問責決議には賛成します。

◎賛成討論 石原広務 議員

町側の言い分として、平成29年度一般会計決算は平成30年9月に提出し審議しなかったから審議未了廃案になったということだが、自治法上、再提出する義務がある。

それを果たさない限り、この問責決議に繋がる妥当な理由が議会側にはあるので、この問責決議に賛成します。

意見書

◎地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計

年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

1. 各自治体において、地方公務員法及び地方自治法の改正趣旨が十分に反映されるよう、必要な財源の確保について特段の配慮を行うこと。
2. 非正規労働者の格差是正を求める「同一労働同一賃金」の法改正の動向も踏まえ、パートタイム労働法の趣旨を、「会計年度任用職員」に適用させるよう法整備を図ること。
3. パートタイムの「会計年度任用職員」に勤労手当や退職手当の支給を認めていない地方自治法を改正すること。
4. 会計年度任用職員の処遇改善、雇用安定を図るため、任期の定めのない短時間勤務職員制度の導入について検討を行うこと。

提出議員 平澤 等

賛成議員 大野 一男

〃 本多 浩

〃 梶田 道廣

※各関係大臣宛提出しました。

一般質問



2人の議員から一般質問があり、町長に答弁を求めました。

住民ボランティアによるサロン活動の 施設確保・整備について

大野 一 男 議員

うにと質問しました。

現状、大成区では各町内会
に出向いてサロン活動は行わ
れていますが、常設の施設整
備が不十分ではないかと考え
ます。いつでも、誰でも、日
常気軽に立ち寄り歓談するな
ど、地域の皆さんが利用でき
る常設の施設整備を、今一歩
踏み込んで受け入れ体制の充
実を図っていただきたいと考
えますが、町長の所見を伺い
ます。

質問



平成29年度から新たな介護
予防・日常生活支援事業に移
行することを受け、各自治体
による受け皿づくりが求めら
れ、せきたな町では各区におい
て対応がなされ事業の推進が
図られています。本事業推進
の大きな要因として「人的要
因の確保」と「事業を実施す
る場所・施設確保・整備」が
必須要件であると考えます。
以前、大成町民センターで
社会福祉協議会大成支所が事
務を行うことから、当センタ
ーを大成区の通所型サービ
スの実施場所として活用でき
る仕組みを考えていただくよ

答弁 町長

地域全体で高齢者を支える
仕組みづくりの一つとして、
平成29年4月から住民主体サ
ービスである通所型サービ
スB、訪問型サービスの取り
組みを開始しています。
このサービスは住民の支え
合いを基盤とし、元気な高齢
者も担い手となるものです。
これにより要支援高齢者の

生活支援と社会参加の両立、
サービスの持続可能性を高め、
住み慣れた地域で安心した生
活ができると考えます。

通所型サービスB、いわゆ
るサロンについては大成区で
の実績はありませんが北檜山
区、瀬棚区で1か所ずつ実施
しており、平成29年度232
人、平成30年度340人を見
込んでおります。

大成区のサロンでは平成30
年11月からサロン実施に向け
て継続的に話し合いを進めて
いる町内会があり、地域包括
支援センター職員も参加し、
平成31年度実施に向けて取り
組んでいます。

今後もサロン実施を進めて
いく町内会等には適宜支援を
行う必要があると考えていま
す。

再質問

大成区では社会福祉協議会
大成支所が区内8地域に出向
いて現地の生活館などで出前
サロンによる事業展開をして
います。地域の中にそういう
ことが少しずつ認識されて醸

成する動きがあることは歓迎
し、評価したいと思います。

ただ、大成区では、いつで
も、誰でもが気軽に通える常
設の施設が整備されていない
状況にありますので、大成町
民センターに社協大成支所が
事務所を構えているなどの要
件を活用しながらサロンの
常設による環境整備を進めて
いただきたいと思います。

平成29年度から始まった事
業ではありますが、まだ事業
が成熟しているわけではあり
ません。

また、民間ボランティアの
主体事業ではありませんが行
政・包括・社協大成支所・輪
(えん)などのボランティア
団体や各町内会・女性会など
の関係者が一緒になって色々
な人的支援や財政支援も含め
て、この仕組みが前に進むよ
う協議していただきたいと考
えますが、町長の所見を再度
伺います。

再答弁 町長

大成区では誰でも日常気軽
に立ち寄れる開放型のサロン

国民宿舎あわび山荘の改築について

石原 広 務 議員



が設置されていない状況です。高齢化率の高い大成区では二丁ズの高いものと考えますが、この通所型サービスマに つきましては元気な高齢者やボランティアを中心とした住民支え合いが基盤となります。よつて、まずはボランティア意識の醸成が必要となります。また、町内の先進事例として北檜山区、瀬棚区にそれぞれ活動している団体があり、ますのでそれらを参考にし、て、まずはやれる範囲で無理せず取り組んでいただきたいと考えます。

町としてもそうした取り組みにつきましては支援をしてみたいと考えています。町内会、各種会合の中で住民自らがこういった話し合いを積極的にしていたが、町もそうした動きにしっかりと支援をしてみたいです。できるだけ早くこうした通所型サービスマ、訪問型サービスマが大成区においても取り組まれるよう町としても努力してみたいです。

質問

国民宿舎あわび山荘は築40年を経過し、老朽化も著しいことは町長も十分認識されています。

一昨年町長選挙で改築に向けた課題整備の推進を公約に掲げ、引き続き町政の執行者として選ばれましたが、未だ改築に向けた具体的な計画等も示されておりません。それを踏まえ次の項目について質問します。

①まちづくり調査特別委員会に町長の考えとして示された国民宿舎あわび山荘は廃止するとして考えの白紙撤回をしない理由について。

②国民宿舎あわび山荘については、指定管理者制度のもと運営すると町長は自らが決定したと明言しており、その上で指定管理者側が積算根拠を明確にした運営経費の数字を無視して、最初から赤字が見込まれる指定管理料しか提示しない理由について。

③指定管理期間を複数年にして欲しいとの要望を受け入れず、未だに単年度契約を続ける理由について。

④改築に関しての課題整備について、これはどのような課題であるのか。また、その整備をどのように推進してきたのか。

以上、明快な答弁を求めます。

答弁 町長

①白紙撤回をしない理由についてですが、議会のまちづくり計画調査特別委員会におい

て両者の方針を踏まえとありますので、町側の国民宿舎あわび山荘の宿泊部門の廃止という方針も踏まえて、協議中ということから廃止の撤回をすることはできません。

②町は次年度の指定管理料を指定管理者が積算をした平成30年度の決算見込みを参考に基準額を設定しております。平成30年度の指定管理料は公社側から300万円を増額した1,600万円でしたの

で町としては同額で見積り基準額として設定し、管理運営ができるものと考えております。

③契約年数について、公社の理事長にも確認しましたが、指定管理者側から複数年にして欲しいという正式な要望はしていません。単年度契約にしている経緯等は指定管理者においても理解されているところであります。

④改築に向けての課題と整備の推進についてですが、町としては新たに温泉宿泊施設を

経営しようとする者は安定し

た経営基盤、経営能力のしっかりした法人でなければならぬと考えており、協議の中でも公社に求めてきたところです。

再質問

公社側の要望も踏まえ、5年以上に渡り様々な協議をしてきた中で、私は一般質問でも再三に渡り、あわび山荘の老朽化や指定管理に対する町長の認識の間違いを指摘してきました。

その上で町長選挙で「改築」という言葉と街頭演説でも「山荘は残します」と力強く宣言したのを多くの町民は聞き、その言葉を信じてきました。

選挙後「全身全霊で公約実現」と明言したことは、今では「公約違反だ」という批判に変わっています。

国民宿舎あわび山荘の改築に向けた課題の整備と推進を具体的に早急にすべきと考えますが町長の明快な答弁を求めます。

山荘を無条件で残すと言ったのは相手候補であり、私ではありません。

改築の条件としては改築するには様々な課題があり、まずは整理しなければならぬということとです。多額の公金を入れなければ、さらに30年、40年経営ができないということになり、議会あるいは町民の理解を得られないというふうに思っています。

公社側にはこれまでも経営・財務体質の強化など、しっかりと欲しいと申し上げてきました。例えば、温泉ホテルきたひやまは3,000万円の赤字がありますが1,300万円で指定管理を受けていただいた。

公社については中身を精査させていただいた上で1,600万円という数字を出したということをご理解いただきたいと思えます。



夏の交通安全、注意しましょう！！

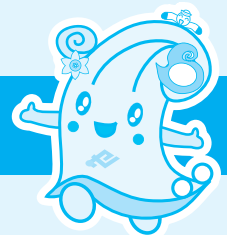
交通事故が多発する夏を安全に過ごすため、交通安全について家族みんなですっかり確認し、危険を見逃さず事故防止に努めましょう。



議会を傍聴しませんか

町政はあなたのために・・・

お気軽においでください



委員会レポート

総務厚生常任委員会

第1回

一、調査年月日

平成31年2月19日

二、調査内容

(1) 国保病院所管

- ・せたな町訪問看護ステーションの再開について調査しました。

(2) 総務課所管

- ・本庁舎長寿命化改修計画について調査しました。
- ・公共施設等防犯カメラ設置について調査しました。
- ・防災行政無線デジタル化整備事業について調査しました。
- ・せたな町名誉町民の選考について調査しました。

(3) 保健福祉課所管

- ・指定管理者の指定（瀬棚高齢者グループホームあさなぎ）について調査しました。
- ・地域密着型小規模特別養護老人ホームせたな雅荘につ

いて調査しました。

- ・鵜泊団地母と子の家の改修工事について調査しました。

(4) まちづくり推進課所管

- ・地方創生推進交付金事業について調査しました。
- ・わくわく地方生活実現政策パッケージ事業について調査しました。
- ・せたな・今金2町連携移住体験事業について調査しました。

- ・賃貸住宅整備促進事業について調査しました。
- ・住宅金融支援機構フラット35（子育て支援型・地域活性化型）の申請について調査しました。

- ・今後のせたな町地域公共交通について調査しました。
- ・愛知県豊山町との交流について調査しました。
- ・プレミアム付商品券事業について調査しました。
- ・第20回全国風サミットinせたなの開催について調査し

ました。

- ・株式会社クリエイティブオフィスキューとの包括連携協定事業について調査しました。

- ・指定管理者の指定（温泉ホテルきたひやま）について調査しました。
- ・指定管理者の指定（国民宿舎あわび山荘）について調査しました。

- ・指定管理者の指定（温泉宿舎あわび山荘）について調査しました。

産業教育常任委員会

第1回

一、調査年月日

平成31年2月15日

二、調査内容

(1) 教育委員会事務局所管

- ・学校ICT機器の整備について調査しました。
- ・せたな町民プールの備品整備等について調査しました。
- ・中学生海外派遣事業について調査しました。
- ・せたな町立学校職員の不祥事に対する処分について報告がありました。

(2) 農務課所管

- ・農業チャレンジ等支援事業

助成金について調査しました。

- ・農業チャレンジ等支援事業（営農用発電機導入支援事業）について調査しました。
- ・指定管理者の指定（せたな町米乾燥貯蔵施設）について調査しました。

- ・指定管理者の指定（せたな町玄米ばら集出荷施設）について調査しました。
- ・若松地区農地整備事業について調査しました。

- ・地域おこし協力隊（酪農ヘルパー等支援員）について調査しました。
- ・せたな町家畜自衛防疫組合補助金について調査しました。

- ・指定管理者の指定（せたな町営牧場）について調査しました。

(3) 水産林務課所管

- ・町有林循環利用造成工事について調査しました。
- ・イカ釣漁業燃油支援事業について調査しました。
- ・アオザメ漁業被害防止対策事業について調査しました。
- ・上架施設リフターテーブル

踏板取替工事について調査しました。

- ・海水取水管取水口改修工事について調査しました。

(4) 建設水道課所管

- ・町道若松小川線防護柵改修について調査しました。
- ・町道花畑線外雪況調査について調査しました。
- ・温泉供給管設計調査について調査しました。
- ・漁業集落排水施設機能保全計画について調査しました。
- ・建物及び土地の無償貸付について調査しました。

議会広報発行常任委員会

第1回

一、調査年月日

平成31年1月30日

二、調査内容

- ・議会、たより54号のゲラ編集をしました。

決算審査特別委員会

一、審査年月日

平成31年1月29日
平成31年2月26日

政務活動費執行状況

交付額	960,000 円
執行額	62,912 円
執行率	6.55 %

二、審査項目及び結果
 平成29年度一般会計決算の減額したものの再提出を待つて審査を行うものとし、町側と協議を続けてましたが減額修正の有無にかかわらず再提出はしない旨、町側より回答がありました。
 また、特別会計決算の審査は行うべきとの意見もあったが一般会計決算の再提出がされない以上、審議することが叶わないため審議は行わないことで付託された議案は本会議へ戻されました。

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるため必要な経費の一部として交付されるもので、本町議会議員には、一人当たり年額12万円が交付されています。

各議員は収支報告書に1円から領収書を添付し、議長に報告しています。また、議長は各議員からの収支報告書のチェックを行い、透明性の確保に努めています。

残額が出た場合は、町に返還しています。

平成30年度は8人分、計96万円を交付し62,912円の執行により執行率6.55%でした。

※ 細川伸男議員、神田和浩議員、真柄克紀議員は政務活動費の交付申請をしませんでした。

議員名	交付決定額	執行済額	未執行額
本多 浩	120,000 円	0 円	120,000 円
石原 広務	120,000 円	0 円	120,000 円
柘田 道廣	120,000 円	0 円	120,000 円
大湯 圓郷	120,000 円	2,000 円	118,000 円
平澤 等	120,000 円	0 円	120,000 円
大野 一男	120,000 円	0 円	120,000 円
熊野 主税	120,000 円	0 円	120,000 円
菅原 義幸	120,000 円	60,912 円	59,088 円
計	960,000 円	62,912 円	897,088 円

議員名	支出内訳							
	調査研究費	研修費	広報・広聴費	議員活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務費
本多 浩	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
石原 広務	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
柘田 道廣	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
大湯 圓郷	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	2,000 円	0 円
平澤 等	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
大野 一男	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
熊野 主税	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
菅原 義幸	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	60,912 円	0 円	0 円

議会の動き

◆ 1 月 ◆

- 9日 議員懇談会
- 18日 檜山町村議会議長会定例議長会議 (19日まで)
- 22日 第1回退職手当組合理議会定例会 (23日まで)
- 25日 議員懇談会
- 29日 決算審査特別委員会 (3日目)
- 30日 第1回議会広報発行常任委員会

◆ 2 月 ◆

- 6日 管内議員研修会
議員懇談会
- 12日 決算審査特別委員会協議会
- 14日 第1回臨時会
第1回全員協議会
議員懇談会
第1回政治倫理に関する議員協議会
- 15日 第1回産業教育常任委員会
- 18日 第1回北部松山衛生センター組合議会定例会
- 19日 第1回総務厚生常任委員会
- 25日 北海道町村議会議長会70周年記念式典 (26日まで)
- 26日 決算審査特別委員会 (4日目)

◆ 3 月 ◆

- 1日 第1回議会運営委員会
- 4日 第1回定例会 (1日目)
予算審査特別委員会 (1日目)
- 11日 第1回定例会 (2日目)
- 12日 予算審査特別委員会 (2日目)
- 13日 予算審査特別委員会 (3日目)
- 14日 予算審査特別委員会 (4日目)
- 15日 第1回定例会 (3日目)
第2回議会運営委員会

管内議員研修会

2月6日(水)に当町のふれあいプラザにおいて、管内の議員研修会が行われ当町からは9名の議員が参加しました。

午前には北海道財務局函館財務事務所長 石井克憲氏が「我が国財政の現状と課題」、午後からは一般社団法人日本経営協会参事 松本 懿氏が「地域活性化の着眼点」と題し、講演がありました。



事務局からのお願い



議会議長宛の案内・
請願・陳情等は、
議会事務局へ提出
願います。

編集後記

いよいよ新しい時代、令和の時代が始まりました。

1年前には平成という時代が終わるまで、まだまだ先のことと思っていました。光陰矢の如しの言葉通りあっという間に1年が過ぎてしまいました。

議会もこれまでの4年間色々な出来事があり、町民の皆様にもご心配をおかけしました。

今、私たちは令和の幕開けとともに4名の新人を加え新しい議会活動を始めようとしています。新しい令和の時代が国民にとって良い時代であることを願うとともに、新しいせたな町議会も町民のみなさまに信頼して頂けるよう皆で協力して頑張ります。

(榎田)

議会広報発行常任委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 榎田 廣 |
| 副委員長 | 横山 道 |
| 委員 | 橋本 一 |
| 〃 | 大湯 一 |
| 〃 | 石原 郷 |